

被害者ゼロを目指して マイマップづくりのすすめ

楽しく作れるお守り、災害からあなたを守ります！

災害を知る

地域知を得る

まちを歩く

見聞録の記入

マイマップ



公益社団法人 日本技術士会東北本部 応用理学部会
(TEL:022-723-3755、E-mail:tohoku@gijutusi.net)
宮城県技術士会 防災委員会
(TEL:022-796-1310、E-mail:miyagi-gijutusi.org)
NPO法人 防災・減災サポートセンター
(TEL:022-358-9151、E-mail:info@bousai-support.or.jp)



● 地震ならびに被災を経験して

2011.3.11忘れることができない、忘れてはならない大震災がありました。来るといわれた宮城県沖地震が小さく見えるほどの巨大地震でした。

その後、長い間の余震活動や誘発された内陸部での地震の多発により、日本列島は益々、災害列島の度を増しているようにも見えます。今回の地震で東北地方の陸地では最大5m以上東方への移動と最大1.2mの地盤沈下が発生したほどです。

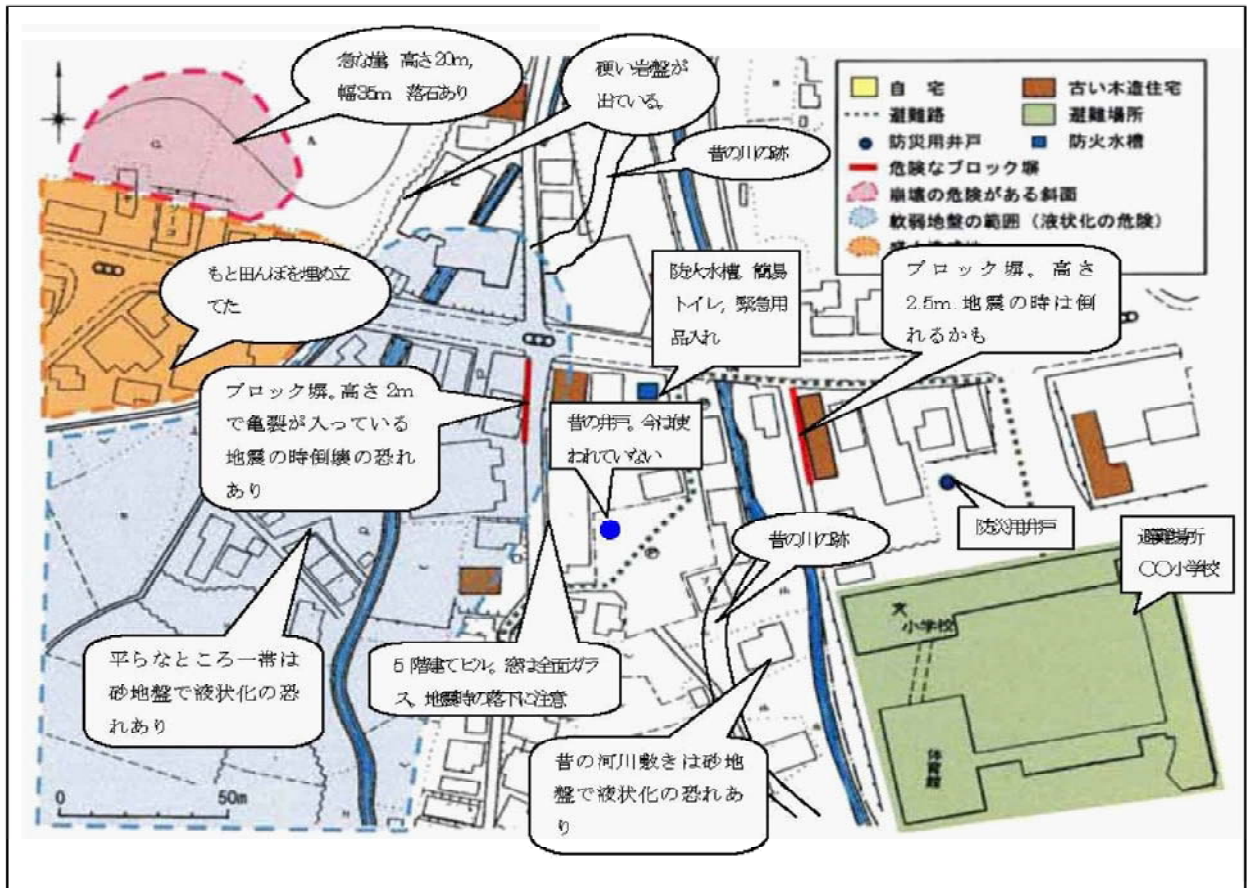
地震や火山という自然災害は抑止することはできません。それは、地球の営みの結果だからです。したがって、このような動きを理解した上で上手に付き合うことが必要です。また、何が、いつ、どこで、どのくらい発生するかを、事前に天気予報並に正確に知るといってもできません。

マイマップってなに？

- ☆ 手づくりの防災マップです。
- ☆ 自分と家族のためのマップです。
- ☆ 地域のためにも役立ちます。

このマップには

- ★ 身近な情報が、いろいろ示されています。
- ★ 知っているつもりで知らない情報があります。
- ★ 安全に通勤、通学、遊べるところが分かります。
- ★ 危険なところは事前に対応できます。
- ★ 行政などのハザードマップと一緒に利用しましょう。



自分や家族が使いやすいように、好みで自由に作れます。



防災・減災として何ができるか？ (地域の特性を知ることで、正しく恐れる！)

地震による被害は、震源からの地震動が地表に伝わることで、さまざまな被害が発生します。その被害の程度は、地盤と対象となる構造物の強さ等に左右されます。東日本大震災では、震源からは遠い、大阪市の高層の庁舎で長周期振動という現象で外壁や室内での倒壊などの被害がでています。震源から同心円状に被害が発生するわけではありません。

地震があって地盤の被害が明らかになってはじめて、造成前の地形を知るといっても珍しくありません。地震で教えてもらう前に、地域を知り、正しい土地利用をしておけば被害から免れることもできます。避難場所についても、公的な建物があるということだけで指定されていることもあります。逃げ場のない学校施設もあります。

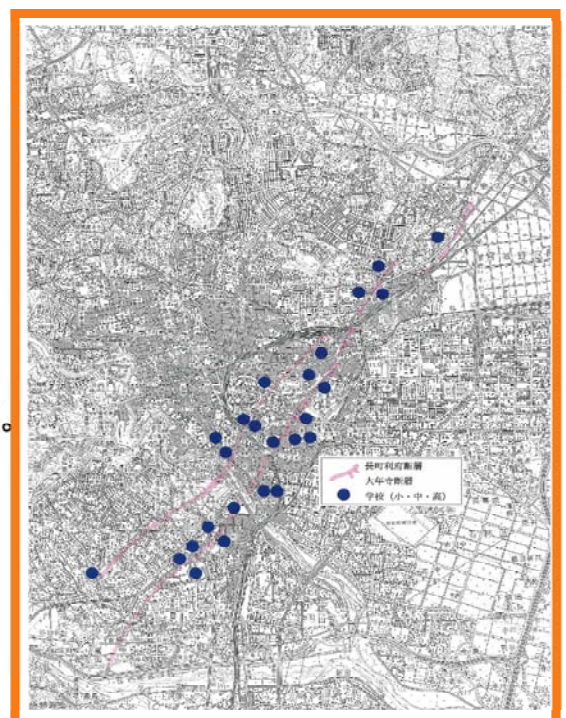
地域を知る

土地の歴史探訪

- ☆ かつての土地利用
- ☆ 地名の由来を考える
- ☆ 井戸、湧き水、沼など
- ☆ まちの変遷
- ☆ 危険なところ、役に立つひと、もの
- ☆ 被災の履歴、体験話

地域は人材の宝庫

- ★ 話せば、どんどん知恵が湧き出てきます。
- ★ 驚き、感嘆の連続！
- ★ 納得、目からうろこ！



活断層分布(仙台市内)と学校位置



地域を知る勉強会

地域情報のリーフレット例

● われわれができる対策は、耐震化と地域を知ることです。

地震に対する、われわれの味方はものを強くすることと避難することです。建物は耐震化して、移動しそうなものは固定しておくことは重要です。そして、避難する方法は普段から想定しておくことが欠かせません。そのために、このマイマップを活用しましょう。マイマップは、自分のためのものですので、図画工作をするつもりで、楽しく作れます。

このマップの最大の目的は、自分達の住んでいるところがどのようなところで、地震のときにどのような弱点を持っているのかをあらかじめ把握することです。そして、災害発生のときにどのように行動できるのかを想定しておいて、実践することです。何も情報がないところでは、自ら判断して行動することは不可能です。

まちを歩く

思わぬ発見、見ての確認、情報がいっぱい！

- ☆ 地震で倒れるもの、落ちてくるもの
(ブロック塀、瓦、看板、ガラス、古い木造住宅、
老化樹木、鳥居・狛犬、室外設備、
トランス、電線・電柱、自販機)
- ☆ 側溝、排水路
- ☆ ガードレール、柵の腐食
- ☆ 広場、空地、道路幅
- ☆ 井戸、消火栓、貯水槽
- ☆ 盛土、斜面
- ☆ 公衆電話、コンビニ、病院、商店、薬局、工務店
- ☆ 避難所

見えない、隠れているものを知る！

- ★ 谷地形
- ★ 沼や湿地
- ★ 埋立地
- ★ 砂地、水路
- ★ 元の地形形状
- ★ 清水、湧き水



1905年(明治38年)



1998年(平成10年)

● 広く展開することで防災力アップ

マイマップは、地域の人や授業の中で一緒に作り上げることで、地域に対するさまざまな知識を得ることができます。

地域に対する愛着に加えて、地域がどのような地形や地質なのかを知り、先人の歴史をも学ぶこともできます。このようなことから、自然災害から身を守る最低限の手立てを得ることができます。地震発生したときに、自分が助かり、隣人を助けることができます。マイマップを作る過程、成果、利用などを通じて地域知を高めて、災害に強い体質を作ることが期待できます。地震防災や減災は、人任せの対応ではなく、自衛力を高めていくことで公助や共助の質的向上が図れると思います。

情報の整理

災害発生時をイメージしながらマップに情報をまきちらす

共同作業＋意見交換→コミュニティ＋人材発掘・発見→自助＋共助の場づくり

要支援者の確認、体験者の話なども貴重な情報になります。



役に立つと思ったら、どんどんマップに書きいれよう、貴重な情報BOX(宝箱)！

マイマップの作り方



用意するもの

- ・ 図版 (A3 版)
- ・ 白地図、住宅地図 (都市計画基本図 ※)
- ・ 筆記用具、色鉛筆、消しゴム
- ・ 定規
- ・ コンパス (磁石)
- ・ デジタルカメラ、フィルムカメラ

※ 都市計画基本図は各市町村の建設課、建築課、都市計画課などで入手できることがあります。

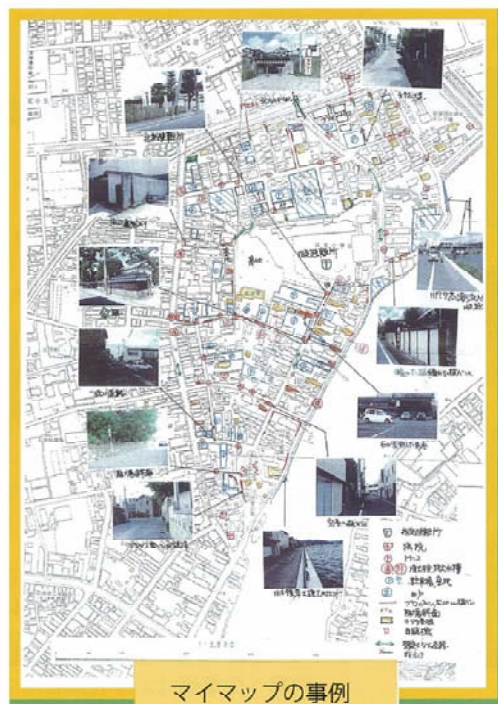
マイマップをつくってみよう！

◎ ワイワイガヤガヤ大歓迎、惜しみなく知識や知恵を出す！



みなさんでマイマップ整理
コミュニケーションの場となる

- ・ マイマップを集めて町内会の防災マップもできます
- ・ 一人暮らしの方や体の不自由な方の所在も考えましょう
- ・ 作ったマップは毎年確認更新しましょう



マイマップの事例

● マイマップを育てる

作成したマップは、これでおわりではありません。防災・減災への始まりですので、上手に活用しましょう。

まず、いままで見えていなかった地域の特性や町の中の様子が分かります。そうすると、安全なところや危険なところ、見えないけれども地震で被害が顕在化するところがあるかもしれません。

このようなことを普段から注意しておくことが、重要なシミュレーションになります。年何回かの大型訓練も大事ですが、自らの訓練も判断、行動する時に頼りになります。普段していないことは、急にはできないということ、今回の地震でも、改めて知りました。そして、新しい地域情報や行政、メディアなどで報道される心構えなどを加えつつ、自分や家族ができる対応を考えていくのに利用することができます。

石もみがかざれば、玉にならず

教わる+教える+確認する+イメージする+使う+イメージトレーニング



避難経路、避難場所と危険箇所の確認、近所の安否確認と救助が可能
救援、救助の連絡、ボランティアさんにも重宝

常に新しい情報で更新しましょう！

災害は忘れたいが、忘れてはいけない！

マイマップは、自分と家族のための保険です！

「マイマップ」は役に立つの？

マイマップには10ものよいところがあります

- 1 マイマップは地震から身を守るための**身近な情報箱**です
- 2 **地域の防災マップと一緒に使う**と効果が倍増します
- 3 **いつでもどこでも**地震に対する備えが自然と身に付きます
- 4 避難経路がわかるので地震発生にも**余裕と自信**がわきます
- 5 **自分で作れる**ので身に付きます
- 6 通学・通勤など**自宅以外の場所にも応用**が利きます
- 7 地域住民の**地震の記憶の風化**に役立ちます
- 8 ネットワークが広がり、**いろいろな視点でマイマップづくり**ができます
- 9 **復旧ボランティアの方の心強いガイド役**になります
- 10 **わが町再発見**になります

● われわれがお手伝いできること

地域の特性に応じた情報の提供

マップ作成や作成に当たっての街中からの情報収集に関するアドバイス

自然災害に関する講演会や講習会の開催

理科教育支援を通して、防災教育の実施

地盤に関する科学技術相談

災害時の被害評価や指導、情報収集並びに分析評価

大震災の復興計画立案に対しての地形地質の面からのアドバイス

災害対策の行政、一般市民への提言、助言

自然災害に関する調査・解析

地盤に関する各種事業の受託



常に新しい情報で更新しましょう！

災害は忘れたいが、忘れてはいけない！

マイマップは、自分と家族のための保険です！

活動の詳細はNPO法人防災・減災サポートセンターの
ホームページに紹介されています。是非、ご覧ください。

<http://bousai-support.or.jp/>

